

埼玉県立自然の博物館報

第7号

(平成24年度)



埼玉県立自然の博物館

2012

目次

埼玉県立自然の博物館の使命について	2
1 沿革	3
2 組織及び職員構成	4
3 施設の概要	5
4 常設展示の概要	6
5 平成24年度事業計画	
(1)管理運営事業	7
(2)展示事業	7
(3)教育普及事業	9
(4)資料収集整理事業	10
(5)調査研究事業	11
6 平成23年度事業報告	
(1)展示事業	12
(2)教育普及事業	15
(3)教育普及事業（環境担当）	26
(4)調査研究事業	28
(5)資料収集保管事業	34
(6)管理運営事業	36
(7)学芸員研修実績	40

埼玉県立自然の博物館の使命について

県立自然と川の博物館は、自然及び川と人々の暮らしとのかかわりに関する資料の収集・保管及び調査研究を行うとともに、その活用を図り、もって教育、学術及び文化の発展に寄与する博物館です。

自然の博物館は、「過去から未来へ埼玉3億年の旅 そして自然と人との共生」をテーマに、自然資料を収集・保管し、調査研究して将来へ継承し、情報を発信します。

また、学習を支援して、自然に関心を持つよう人材を育成し、様々な人との連携・交流を進めます。

「川の博物館」と連携し、県内唯一の自然系総合博物館として、秩父地域から埼玉全域へと視野を広げ、県民のみなさんとともに考え行動しながら、旺盛な博物館活動を展開していきます。

1 自然史資料を収集・保管し、調査研究して、将来へ継承します。(データバンク機能)

自然史分野を総合的に扱える県内唯一の博物館として、埼玉の自然とその変遷に関する生物・岩石・化石資料や、自然と人との共生に関する資料を収集・整理・保管します。

また、これらの資料を調査研究し埼玉の自然について明らかにしていくとともに資料価値を高め、将来へ遺します。

2 資料を活用し、多彩な情報を発信します。(情報発信機能)

「過去から未来へ 埼玉3億年の旅 そして自然と人との共生」をテーマに、展示や教育普及活動などを通じて、県民をはじめとする広範な人々へ情報を提供します。利用者の多様なニーズに合わせ、自然に親しむための情報や調査研究に基づく学術情報など、魅力的な情報を発信します。

3 学習を支援し、自然に関心をもつ人材を育成します。(学習支援・人材育成機能)

学校や社会教育施設、地域社会を対象に、地域の自然や館有資料を活用した体験学習を推進・支援します。これらの体験学習や展示を通じて、人々の知的好奇心を刺激し、自然に関心をもつ人材の育成に貢献します。

4 さまざまな人々と連携・交流を進めます。(連携・交流・啓発機能)

自然に関心をもつ個人、地域社会、関係機関・諸団体と連携・交流を進めます。こうしたネットワークを少しずつ広げながら、人・もの・情報が集まる博物館とすることにより、相互のレベルアップを図っていきます。

1. 沿革

昭和

- 52.3 埼玉県議会で自然系博物館の建設定
- 52.11.16 埼玉県立自然系博物館建設基本構想策定協
議会委員 14 名委嘱
- 53.4.1 自然系博物館設立準備委員 2 名委嘱
- 54.2.6 埼玉県立自然系博物館展示構想策定委員 4
名委嘱
- 54.4.1 建設地決定、準備委員 4 名発令
- 54.9.25 建築基本及び実施設計を前川国男建築設計
事務所へ委託
- 55.4.4 埼玉県立自然史博物館(仮称)準備事務所開
設、準備委員 5 名発令
- 55.4.17 埼玉県立自然史博物館(仮称)建築工事起工
式挙行
- 55.9.19 展示企画・基本設計委託(7社)
- 55.10.1 職員 9 名発令
- 56.1.26 展示実施設計を(株)日展に委託
- 56.3.31 建築工事完成
- 56.5.1 展示製作業務を(株)日展に委託
- 56.11.10 埼玉県立自然史博物館条例、同管理規則施行
埼玉県立自然史博物館開館、館長須藤和人以
下職員 18 名発令
- 56.11.11 一般公開
- 56.12.3 博物館法第 10 条による博物館登録
- 59.4.1 館長 三友清史発令
- 60.10.9 入館者累計 50 万人達成
- 60.12.9~21 アケボノゾウ骨格化石発掘調査
- 61.4.1 館長 紺野雄三発令

平成

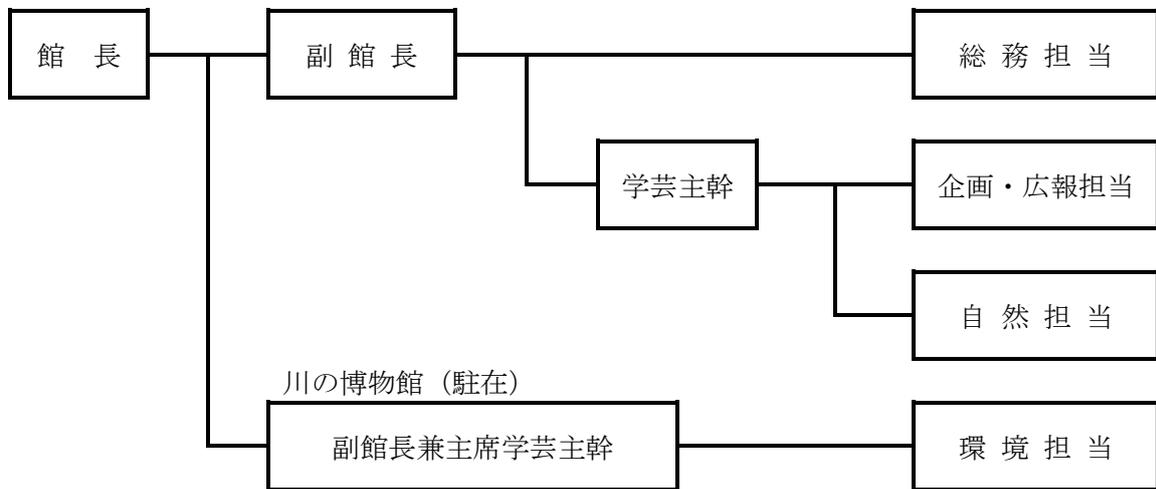
- 1.4.1 館長 島田道郎発令
- 2.4.21 入館者累計 100 万人達成
- 3.3.12 日本生命財団より展示総合案内寄贈
- 3.4.1 館長 大熊欽一発令
- 3.10.19~11.24 開館 10 周年記念特別展「よみがえる
太古の巨大ザメ」開催
- 5.5.12 天皇・皇后行幸啓
- 5.12.12 「日本地質学発祥の地」記念碑建立式典挙行
- 6.10.1 入館者累計 150 万人達成
- 6.4.1 館長 中島利治発令
- 6.11.21 新化石種「チチブサワラ」公表
- 9.7.25 秋篠宮殿下同妃殿下お成り
- 10.4.1 館長 梅沢太久夫発令
- 11.3.19 「パレオパラドキシア」埼玉県天然記念物指
定(埼玉指第 462・463 号)

- 11.5.30 生物展示ホール「シャクナゲ咲く初夏の原生
林」・「暗黒の世界鍾乳洞」にタッチライト設
置
- 11.7.17~8.31 特別展「アユの生活誌」をさいたま川
の博物館と共催
- 12.4.1 館長 増田逸朗発令
- 12.8.15 入館者累計 200 万人達成
- 12.8.23 生物展示ホール「みどりこい夏のアカマツ
林」にタッチライト設置
- 12.10.1 館長 大友務発令
- 13.5.8 生物展示ホール「冬枯れの雑木林と池や沼」
にタッチライト設置
- 14.8.9 オリエンテーションホールの照明改修
- 14.10.5~12.8 特別展「奥秩父の自然」開催
- 14.10.8~12.8 特別展「ヤマネー森に棲むもの 西村
豊写真展」開催
- 15.4.1 館長 谷井彪発令
- 15.10.4~12.9 特別展「里山の自然」開催
- 16.7.17~9.26 連携企画展「水辺の昆虫トンボ」をさ
いたま川の博物館と連携し開催
- 17.3.22 「大野原産チチブクジラ骨格化石」埼玉県天
然記念物指定(埼玉指第 503 号)
- 17.4.1 館長 柿沼幹夫発令
- 17.10.8~12.4 特別展「石の用と美」開催
- 18.4.1 県立博物館施設の再編により「県立自然の博
物館」に名称変更
- 18.4.1 館長 柿沼幹夫発令(川の博物館長と兼務)
- 18.7.22~9.3 特別展「巨大昆虫の世界」開催
- 19.4.1 館長 本間岳史発令(川の博物館長と兼務)
- 19.11.23 入館者累計 250 万人達成
- 20.2.2 展示室リニューアルオープン
- 20.4.1 館長 本間岳史発令(兼免)
- 20.4.1 環境担当(川の博物館常駐)を設置
- 20.7.20 ~8.31 特別展「巨大昆虫の世界 II」開催*
- 21.4.1 館長 鈴木敏昭発令
- 21.7.18~8.81 特別展「埼玉圏の原始・古代人」開催*
- 22.4.1 館長 井上肇発令
- 22.9.18~11.14 特別展「葉の世界—そのかたちと利用
を探る—」開催*
- 23.4.1 館長 根岸玲発令
- 23.9.1~ 大規模改修のため臨時休館
- 23.9.17~11.20 特別展「発掘・発見 埼玉のふるさと
秩父のおごつつおう」開催*
- 24.4.1 館長 渋澤重雄発令

*企画=自然の博物館・実施=川の博物館

2. 組織及び職員構成(平成24年度)

(1) 組織



(2) 職員構成(平成24年4月1日現在)

館長 洪澤重雄
副館長兼主席学芸主幹 二階堂実
副館長 岩本克昌

○総務担当

担当部長 大谷卓
主任 浅見靖
主任 井上剛

○企画・広報、自然担当

学芸主幹 中村修美

○企画・広報担当

学芸主幹 楡井尊
学芸員 井上素子
主任 町田聖幸

○自然担当

担当課長 碓井徹
担当課長 植田雅浩
学芸員 奥村みほ子
学芸員 北川博道
専門員兼学芸員 坂本治
専門員兼学芸員 吉田考造

専門員兼学芸員

本間岳史

○環境担当

担当課長 青木勝美
学芸員 小林まさ代
主事 松浦誠

※ 副館長兼主席学芸主幹、環境担当は川の博物館駐在。

(3) 人事異動

平成24年3月31日

館長 根岸玲 (転出)
副館長兼主席学芸主幹 今井宏 (転出)
学芸主幹 若松良一 (転出)
担当部長 向井均 (転出)

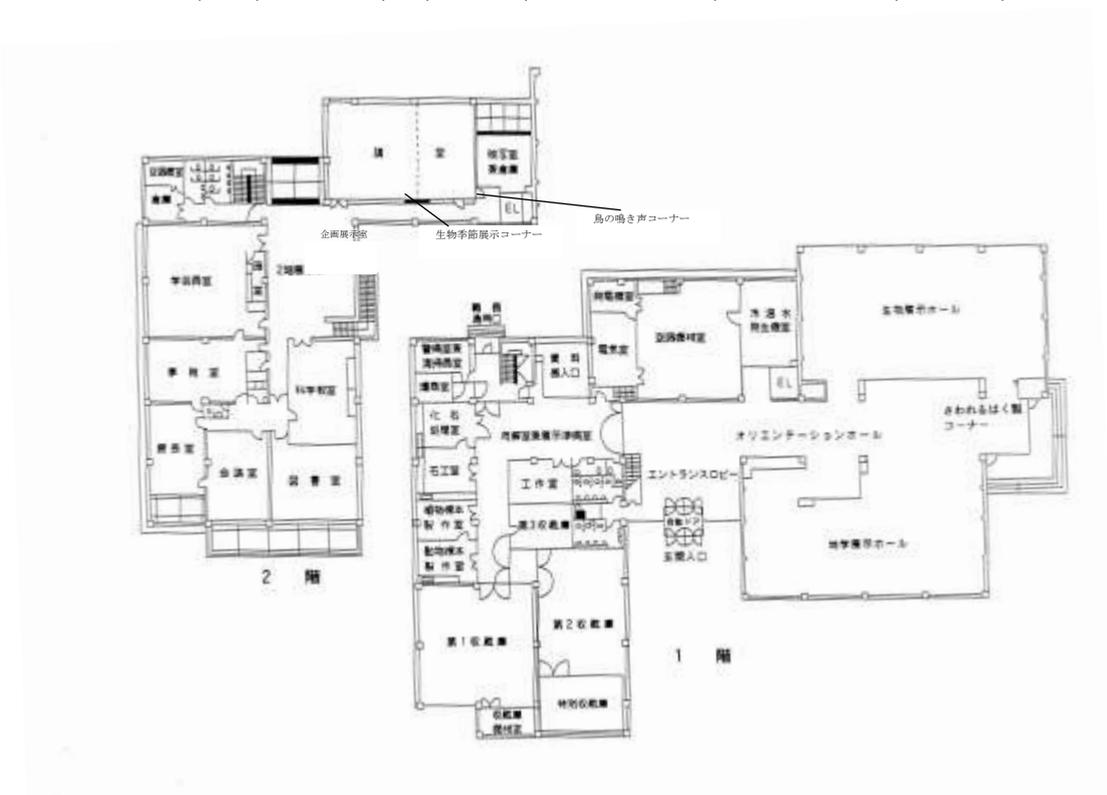
平成24年4月1日

館長 洪澤重雄 (転入)
副館長兼主席学芸主幹 二階堂実 (転入)
学芸員 北川博道 (新任)
主事 松浦誠* (新任)
専門員兼学芸員 坂本治 (再任用)
専門員兼学芸員 吉田考造 (再任用)
専門員兼学芸員 本間岳史 (再任用)

* (臨任)

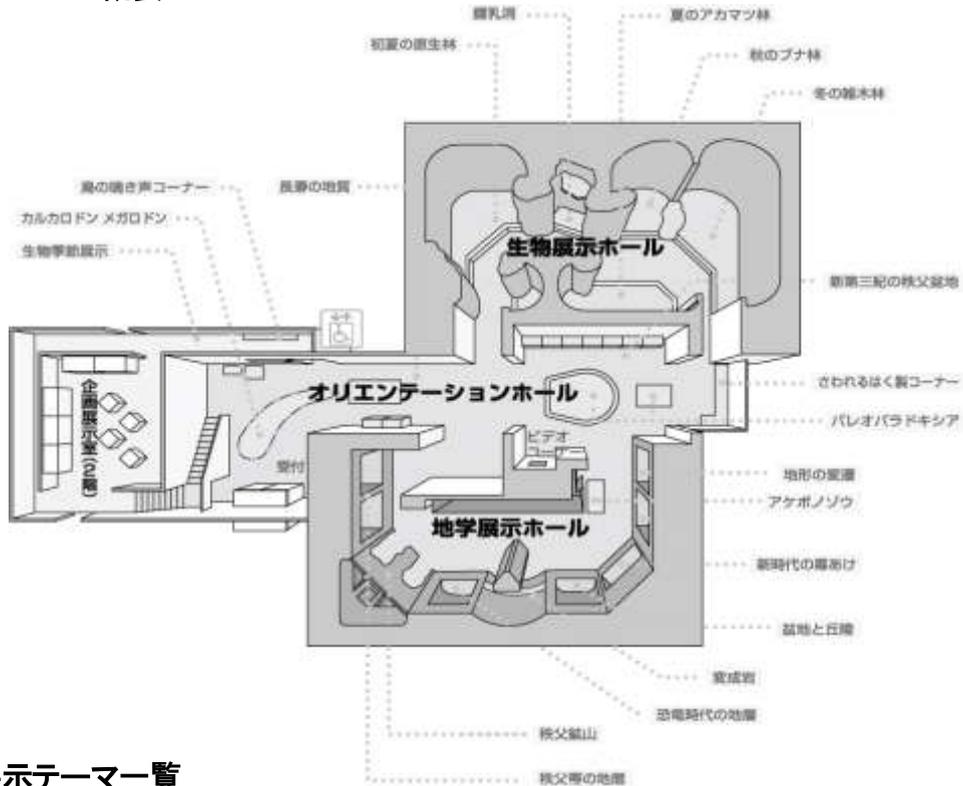
3. 施設の概要

- (1) 所在地 埼玉県秩父郡長瀬町長瀬1417番地の1
- (2) 敷地面積 9,948.76㎡
- (3) 建物の構造及び床面積 鉄筋コンクリート、2階建、延 3,022.29㎡
- (4) 各部門及び各室の面積
 - ア 展示部門 1,160.0㎡(38.48%)
エントランスロビー(78㎡)、オリエンテーションホール(260㎡)、地学展示ホール(303㎡)、生物展示ホール(342㎡)、さわれるはく製コーナー(27㎡)、企画展示室(150㎡)
 - イ 教育部門 269.5㎡(8.9%)
講堂(150㎡)、映写室(43㎡)、科学教室(73.5㎡)、倉庫(3㎡)
 - ウ 研究部門 202.5㎡(6.7%)
学芸員室(132㎡)、図書室(70.5㎡)
 - エ 技術部門 158.4㎡(5.2%)
化石処理室(27㎡)、石工室(27㎡)、植物標本製作室(27㎡)、動物標本製作室(27㎡)、工作室(23.6㎡)、くん蒸室及び同前室(16㎡)、暗室(10.8㎡)
 - オ 保管部門 529.9㎡(17.5%)
第1収蔵庫(149㎡)、第2収蔵庫及び同前室(125.7㎡)、第3収蔵庫(28.8㎡)、特別収蔵庫(58.4㎡)、資料搬入口(36㎡)、荷解室兼展示準備室(90㎡)、搬入通路(42㎡)
 - カ 管理部門 498.1㎡(16.5%)
館長室(47.3㎡)、事務室(63㎡)、会議室(54㎡)、警備員室兼清掃員室(20.8㎡)、倉庫(23.8㎡)、機械室(261.5㎡)、空調機械室(9.7㎡)、収蔵庫機械室(18㎡)
 - キ その他(共通) 203.89㎡(6.7%)
エレベーター(11㎡)、湯沸室(3㎡)、便所(4ヶ所・66.8㎡)、階段・廊下(123.09㎡)



4. 常設展示の概要

(1) 展示ホールの概要



(2) 常設展示テーマ一覧

◇ オリエンテーションホール

- ・過去から未来へ
埼玉3億年の旅　そして自然と人との共生
(総合サイン)
- ・カルカロドン・メガロドン
- ・長瀬の地質
- ・秩父・長瀬の地質学史と博物館のあゆみ
- ・パレオパラドキシア
- ・新第三紀の秩父盆地
- ・大地の不思議 (ビデオ展示)

◇ 地学展示ホール

- ・荒川上流部
- ・秩父帯の地層
秩父帯の地層
2億5000万年前の海の様子
秩父山
- ・恐竜時代の地層
山中地溝帯
1億年前の海と陸のようす
ソールマーク
- ・岩石の変形
- ・埼玉の変成岩
- ・盆地と丘陵

第三紀中新世の海
砂泥互層

- ・新時代の幕あけ
第四紀はじめの化石林—メタセコイア—
地層の断面
アケボノゾウがいたころのようす
アケボノゾウ骨格復元模型
- ・地形の変遷 (ビデオ展示)
- ・約13万年前の化石

◇ 生物展示ホール

- ・冬枯れの雑木林と池や沼
- ・みどりこい夏のアカマツ林
- ・いろどられるブナ林と溪流
- ・石灰岩にきざまれた自然の造形
- ・シャクナゲ咲く初夏の原生林

◇ さわれるはく製コーナー

- ・親しまれているけものや野鳥たち

(3) 企画展示テーマ

- ・多様な埼玉の自然
—多様な埼玉の生きもの—

(4) 生物季節展示コーナー

(5) 鳥の鳴き声コーナー

5. 平成24年度事業計画

1 管理運営事業

埼玉の自然及び自然と人々の暮らしとの関わりに関する資料の収集、整理保管、調査研究及び教育普及、展示事業等を円滑に推進するため、自然の博物館全般の管理運営に努めます。

2 展示事業

展示を充実し、県民の多様なニーズに応えるため、次の事業を実施します。

(1) 常設展示の充実、改修、補修と維持管理

ア 常設展示の充実

(イ) リフレッシュオープンにあわせてオリエンテーションホールに、ジオパーク等に対応した、展示を設置します。

(ロ) 地学・生物両展示ホールの褪色・汚損が見られるパネルや、最新の学術情報の解説が必要な展示を制作更新します。

イ 展示資料および展示器材等の補充・管理

常設展示で使用している資料の補充や、展示台等の器材の補修・交換を行います。

ウ 「さわれるはく製コーナー」の維持管理

野生動物を身近に感じてもらうために、傷んだはく製を随時入れ替えるなど、「さわれるはく製コーナー」の維持管理に努めます。

(2) 特別展の実施

タイトル：「今だって氷河時代」

(企画：自然の博物館、運営：川の博物館)

期 間：平成24年7月14日(土)～9月2日(日)

会 場：埼玉県立川の博物館 第2展示室

概 要：過去の大きな気候変動は、現在の大地を形作る要因となったばかりでなく、生物相の成り立ちにも大きな影響を与えました。この気候変動について知ることは、将来の地球環境を展望することに役立ちます。展示では、氷河時代を紹介するとともに、氷期を生き抜いた生物と人々についても紹介します。

(3) 企画展示の実施

- ア タイトル：ジオパーク秩父へのいざない
期 間：平成24年10月6日（土）～平成25年1月14日（月）
会 場：企画展示室
概 要：ジオパーク秩父の魅力と特徴を紹介します。
- イ タイトル：オオタカは大きくない ―ハチドリからペンギンまで―
期 間：平成25年1月19日（土）～平成25年3月31日（日）
会 場：企画展示室
概 要：未公開だった、多数の鳥類剥製をとおして、鳥の世界を紹介します。
- ウ タイトル：「カエデの森」ができるまで
期 間：平成24年10月6日（土）～平成25年1月14日（月）
会 場：季節展示コーナー
概 要：屋外に整備したカエデの森の特色と整備過程を紹介します。
- エ タイトル：石の万華鏡 ―ミクロの美術館―
期 間：平成25年1月15日（火）～平成25年3月10日（日）
会 場：季節展示コーナー
概 要：偏光顕微鏡画像を紹介します。
- オ タイトル：春の植物
期 間：平成25年3月12日（火）～平成25年3月31日（日）
会 場：季節展示コーナー
概 要：カタクリなどの春植物や早春に花の咲く植物を紹介します。

(4) 共催展示の実施

- ア タイトル：武蔵野の雑木林と春の息吹 ―雑木林の成り立ちといきもの―
期 間：平成24年4月1日（日）～平成24年5月20日（日）
会 場：三芳町立歴史民俗資料館
概 要：雑木林の成り立ちと多様な生き物を紹介します。
- イ タイトル：特定外来動物にご注意 ―アライグマとカミツキガメの正体を見る―
期 間：平成24年4月1日（日）～平成24年6月10日（日）
会 場：春日部市立郷土資料館
概 要：アライグマとカミツキガメの剥製で特定外来生物を紹介します。
- ウ タイトル：荒川が作った地形（県立館連携事業）
期 間：平成24年6月1日（金）～平成24年12月2日（日）
会 場：埼玉県立文書館
概 要：大判空撮画像で荒川が作った地形を紹介します。
- エ タイトル：埼玉に生きる多様な生き物たち

期 間：平成24年7月21日（土）～平成24年9月2日（日）

会 場：熊谷市立熊谷図書館郷土資料室

概 要：埼玉県内で見られる様々な生き物を剥製や標本、生態写真などで紹介します。

オ タイトル：自然の博物館紹介展示（県立館連携事業）

期 間：平成24年4月1日（日）～平成24年9月30日（日）

会 場：歴史と民俗の博物館、近代美術館、さいたま史跡の博物館、嵐山史跡の博物館

3 教育普及事業

県民の自然に関する関心と理解を深めるため、体験学習等の機会を提供します。

平成24年度は、次の事業を実施します。

- | | |
|------------------------|----------|
| (1) 自然工房 | 7回（7日） |
| (2) 観察会 | 10回（10日） |
| (3) ミュージアムトーク | 17回（17日） |
| (4) リフレッシュオープン記念事業（新規） | 44回（46日） |
| (5) 県立館連携事業（新規） | 8回（8日） |
| (6) その他事業 | 3回（19日） |
| (7) 児童・生徒・学生等の学習支援 | |

理科や総合的な学習の時間、環境教育、キャリア教育等の支援

20回（20日）

新学習指導要領に準拠した体験学習プログラムの実践と開発を進めます。

- (8) 指導者対象講座の開催

ア 授業に役立つ自然史体験講座 1回（1日）

- (9) 各種研修会・教育研究団体の受け入れ

県立総合教育センター主催の教員研修会をはじめ、各種研修会や研究団体の研修や行事等を積極的に受け入れます。

ア 中学校初任者教科別研修（理科） 1回（1日）

イ 中学校5年経験者教員研修（理科） 1回（1日）

ウ 小・中学校初任者研修（みどりと川の埼玉の歴史を学ぶ体験研修） 6回（6日）

エ 高等学校・特別支援学校等5年経験者社会貢献体験研修 1回（2日）

オ 20年経験者社会体験・ボランティア研修 1回（3日）

カ 幼稚園教諭新規採用職員研修 1回（1日）

- (10) 博物館学芸員実習・職場体験等の受け入れ

ア 博物館学芸員実習

実習期間 平成24年8月1日（水）～8月8日（水）の7日間

イ 中学生職場体験実習（長瀬中、皆野中）

- (11) 自然の博物館友の会の活動への支援
 - ア 定期総会、野外観察会（5回）、交流会（1回）の開催
 - イ 会報「みんなの自然史」第75～76号、「自然の暦」No.49～50の発行
- (12) 各種印刷物の刊行・配布
 - ア 埼玉県立自然の博物館報 第7号
 - イ 埼玉県立自然の博物館研究報告 第7号
 - ウ 催し物案内
 - エ 自然の博物館ニュースレター「澗」 第19号～第21号
 - オ 特別展「今だって氷河時代」図録・リーフレット・企画展リーフレット
 - カ 観察会等のテキストや研究発表会の資料
 - キ 自然の博物館利用講座テキスト及び指導資料
 - ク 自然の博物館利用の手引き
 - ケ 展示解説リーフレット
- (13) 外部研究者の受入と活用

外部の研究者に施設や収蔵資料を活用してもらい、また、共同研究を行って館の基礎的力量を高めます。
- (14) ボランティアの受入

生涯学習や自己実現の場を提供し、重要なパートナーとして、博物館活動の質を高めます。

 - ア 展示解説・普及ボランティア（新規）

新たにボランティアによる展示解説を実施します。
 - イ 資料整理ボランティア

専門知識のあるボランティアにより、標本化作業の補助を行います。

4 資料収集整理事業

自然に関する資料を収集・整理・保管し、県民に供するため、次の事業を実施します。

- (1) 化石資料の整理と登録
- (2) 岩石・鉱物系資料の整理と登録
- (3) 維管束植物の標本作成と登録
- (4) コケ植物、地衣類の標本作製と登録
- (5) 昆虫標本の同定と整理、登録
- (6) 昆虫以外の無脊椎動物の資料整理と登録
- (7) 大型動物の触察剥製の委託作製
- (8) 小型脊椎動物の骨格標本の作製と登録
- (9) 図書を除く二次資料の収集と整理
- (10) 定期刊行物を中心とする図書資料の整理

- (11) 「ジオパーク秩父」に関連する文献資料の収集と整理
- (12) 川の博物館の収蔵庫内に保管されている自然史系資料の整理
- (13) インターネットを通じての収蔵資料の積極的公開

5 調査研究事業

- (1) 埼玉の自然及び自然と人々との関わりに関する研究
標記の総合研究テーマに基づき、分野ごとに研究テーマを設定し、調査研究にあたります。研究の成果は、研究報告書等で公表し、展示・教育普及事業等で活用するよう努めます。
分野別研究テーマ
 - ア 自然分野：埼玉の自然に関する研究
 - イ 環境分野：埼玉の自然と人々の関わりに関する研究
- (2) 特別天然記念物カモシカ保護対策事業
カモシカ保護地域における生息環境・生息状況・食害状況に関する通常調査を行い、カモシカ保護管理の基礎資料として活用します。

6 博学連携の強化事業（臨時休館中対応）

大規模改修に伴う休館中（平成24年4月1日～平成24年10月5日）に、博学連携の強化のため、下記の事業を実施します。

- ア 学校等支援事業（出前授業の実施）
理科や総合的な学習の時間などの授業を、学校に出向いてサポートする、出張授業を実施します（休館中）。
- イ 県政出前講座の実施
 - ・埼玉の地質の化石
 - ・長瀨岩畳や虎岩周辺の観察
 - ・ようばけの観察とおがの化石館の見学
 - ・埼玉の多様な生きもの（動物初級編）
 - ・埼玉の多様な生きもの（植物初級編）
 - ・埼玉の自然（動物—植物—地質）
- ウ 社会教育等の支援
社会教育施設等の連携を強化するため、県政出前講座を窓口とした、自然学習のメニューを強化します。

6. 平成23年度埼玉県立自然の博物館事業報告

1 展示事業

展示を充実し、県民の多様なニーズに応えるため、次の事業を実施しました。

(1) 常設展示の充実、改修、補修と維持管理

ア 常設展示の充実

企画展示室等を利用し、「自然と人とのかかわり」をキーワードに、収蔵資料を積極的に活用した展示の充実を図りました。

1) 多様な埼玉のいきものー森の賢者フクロウとミミズクー

期間：平成23年5月13日（金）～6月26日

2) 多様な埼玉のいきものー虫・むしワールド

期間：平成23年6月28日（火）～8月31日（水）

イ 展示資料および展示器材等の補充・管理

常設展示で使用している資料の補充や、展示台等の器材の補修・交換を行いました。

ウ 展示解説パネルの更新

地学・生物両展示ホールの褪色・汚損が見られるパネルや、最新の学術情報の解説が必要なパネルを自主製作して更新しました。

エ 「さわれるはく製コーナー」の維持管理

野生動物を身近に感じてもらうために、傷んだはく製は随時入れ替えるなど「さわれるはく製コーナー」の維持管理に努めました。

(2) 特別展の実施

テーマ： 「発掘・発見 埼玉のふるさと 秩父のおごっつおう」

(企画：自然の博物館、運営：川の博物館)

期 間：平成23年9月17日（土）～11月20日（日）

会 場：埼玉県立川の博物館 第2展示室

見学者：18,329名

概 要：秩父地方の祭礼などの食文化の調査から、伝統食の起源をさぐり紹介しました。

(3) 企画展の実施

ア テーマ：秩父のすばらしき大地の魅力ー秩父の地質と博物館のあゆみー

期 間：平成23年4月1日（金）～平成23年5月8日（日）

会 場：企画展示室

見学者：6,623名

概 要：秩父の素晴らしい自然を地質の観点から探り、あわせて博物館のあゆみを紹介しました。

イ テーマ：春の植物

期 間：平成23年4月1日（金）～5月8日（日）

場 所：季節展示コーナー

見学者：6,623名

概 要：早春に咲く花を紹介しました。

ウ テーマ：春から夏のきのこ

期 間：平成23年5月13日（金）～6月26日（日）

- 会場：季節展示コーナー
見学者：6,685名
概要：春から夏にかけてみられるキノコを紹介しました。
- エ テーマ：海を渡るチョウ アサギマダラ
期間：平成23年6月28日（火）～7月31日（日）
会場：季節展示コーナー
見学者：9,972名
概要：長距離移動をする謎のチョウについて解説しました。
- オ テーマ：セミとアメンボは友達
期間：平成23年8月1日（月）～8月31日（水）
会場：季節展示コーナー
見学者：15,718名
概要：身近な昆虫のセミと水辺の風物詩アメンボたちを生態写真で紹介しました。

（４）共催展の実施

9月以降の臨時休館期間に、各地の博物館、社会教育施設と連携し、共催展を実施しました。

- ア テーマ：深谷の化石 ー化石でたどる海と陸のドラマー
期間：平成24年3月3日（土）～3月25日（日）
会場：深谷市川本出土文化財管理センター
見学者：646名
概要：深谷市の荒川河床から出土した化石などを紹介しました。
- イ テーマ：カエデ&もみじ ー埼玉の山はカエデの宝庫
期間：平成23年11月5日～12月4日
会場：埼玉県自然学習センター
見学者：449名
概要：日本に自生するカエデの仲間を紹介しました。
- ウ テーマ：空からみた埼玉の自然地形 ー多様な生きものを育む多様な自然環境ー
期間：平成24年1月14日（土）～2月19日（日）
会場：埼玉県自然学習センター
見学者：1011名
概要：空から見た埼玉の自然地形をパネル写真で紹介しました。
- エ テーマ：特定外来動物にご注意 アライグマとカミツキガメ
期間：平成24年3月17日（土）～平成24年3月31日（土）
会場：春日部市郷土資料館
見学者：314名
概要：外来生物を紹介し、自然と暮らしに与える影響を紹介しました。
- オ テーマ：雑木林と春の息吹
期間：平成24年3月24日（土）～平成24年3月31日（土）
会場：三芳町立歴史民俗資料館
見学者：284名
概要：三芳町に広がる雑木林と、そこで生活する動植物を紹介しました。
- カ テーマ：秩父の大地は語る ー地層と化石の物語ー
期間：平成23年7月30日（土）～9月30日（金）
会場：おがの化石館
見学者：1,397名
概要：秩父の素晴らしい自然を地質の観点から紹介し、あわせて「ジオパーク秩父」

を紹介しました。

- ク テーマ：森の賢者 狭山丘陵のフクロウ展
期 間：平成23年11月26日～平成24年1月22日
会 場：狭山丘陵いきものふれあいの里センター
見学者：2915名
概 要：フクロウの独特な生態を紹介しました。
- ケ 県庁渡り廊下展示『埼玉の希少植物』
期 間：平成24年1月5日～1月16日
会 場：県庁
見学者：3920名*
概 要：絶滅の心配のある希少な植物を、写真で紹介しました。
- コ 県庁渡り廊下展示『虫たちの素顔』
期 間：平成24年1月17日～1月25日
会 場：県庁
見学者：3920名*
概 要：昆虫の生態や顔を写真で紹介しました。
- サ 県庁渡り廊下展示『秩父の秩父のみどころ』
期 間：平成24年1月26日～2月3日
会 場：県庁
見学者：3920名*
概 要：秩父の地質名所を写真で紹介しました。

*推計値です

2 教育普及事業

県民の自然に関する関心と理解を深めるため、体験学習等の機会を提供します。

平成23年度は、次の事業を実施しました。

- | | | | | |
|-----|-------|--------|-----|------|
| (1) | 自然工房 | 2回(2日) | 参加者 | 64名 |
| (2) | 体験教室 | 2回(2日) | 参加者 | 118名 |
| (3) | 自然史講座 | 3回(3日) | 参加者 | 61名 |
| (4) | 観察会 | 8回(8日) | 参加者 | 118名 |
| (5) | 記念事業 | | | |

ア 県民の日記念事業 1回(1日) 参加者1807名
体験イベント、博物館紹介を川の博物館の秋祭りに合わせて実施しました。

イ 研究発表会 2回(2日) 参加者 37名

ウ 地質の日・国際博物館の日記念事業 2回(1日) 参加者 117名

- (6) 児童・生徒・学生等の学習支援

エ 理科や総合的な学習の時間、環境教育、キャリア教育等の支援
27回(27日) 参加者1847名
新学習指導要領に準拠した体験学習プログラムの実践を実施しました。

オ 夏休み理科自由研究相談室 2回(2日)

- (7) 指導者対象講座の開催

ア 授業に役立つ自然史体験講座 1回(1日) 参加者 54名

- (8) 自然の博物館ふれあいトーク 16回(16日) 参加者510名

- (9) 各種研修会・教育研究団体の受け入れ

県立総合教育センター主催の教員研修会をはじめ、各種研修会や研究団体の研修や行事等を積極的に受け入れました。

ア 中学校理科教員初任者研修 1回(1日) 参加者 51名

イ 中学校5年経験者教員研修 1回(1日) 参加者 24名

ウ 小・中学校初任者研修 6回(6日) 参加者158名

エ 高等学校5年経験者研修 1回(3日) 参加者 6名

オ 20年経験者研修 1回(3日) 参加者 2名

- (10) 博物館学芸員実習・職場体験等の受け入れ

ア 博物館学芸員実習

実習期間 平成22年8月3日(水)～8月9日(火)の7日間
7名(大東文化大学・八洲学園・東京農業大学・日本大学・筑波大学)

イ 中学生職場体験実習(長瀬中、皆野中)

- (11) 自然の博物館友の会の活動への支援

ア 定期総会、野外観察会(5回)、交流会(1回)の開催

イ 会報「みんなの自然史」第72～74号、「自然の暦」No.46～48の発行

- (12) 各種印刷物の刊行・配布

ア 埼玉県立自然の博物館報 第6号

イ 埼玉県立自然の博物館研究報告 第6号

ウ 催し物案内

エ 自然の博物館ニュースレター「澗」第16号～第18号

オ 特別展「発掘・発見 埼玉のふるさと 秩父のおごつつおう」図録・リーフレット・企画展リーフレット

カ 科学教室のテキスト

キ 観察会等のテキストや研究発表会の資料

ク 自然の博物館利用講座テキスト及び指導資料

- ケ 自然の博物館利用の手引き
- コ 展示解説リーフレット
- (13) 外部研究者の受入と活用
 - 外部の研究者に施設や収蔵資料を提供し、共同研究を行って、館の基礎的力量を高めました。 延べ53名
- (14) ボランティアの受入
 - 生涯学習や自己実現の場を提供し、重要なパートナーとして、博物館活動の支援をいただきました。 延べ81名
 - 新たに展示解説ボランティアを募集しました。 10名。

教育普及事業内容

●事前申込み方法

- ・WEB サイト登録フォーム・往復はがき・電子申請のいずれかで

1. イベント名
2. 期日
3. 申込みの住所（連絡先）・電話番号
4. 参加希望者全員の氏名、年齢

1つのフォーム、往復はがき、電子申請で1件の申し込みのみ受け付けます。

- ・受付期間

イベント実施日の2週間前の週の火曜日までに受付、定員を超えるときは抽選。

(1) 自然工房

時 間：13：30～15：30 対 象：小学生以上
 会 場：当館科学教室他 費 用：材料費200円

期日	タ イ ト ル	内 容	参加者数	担当（副担当）
4.23(土)	粘土で作る動物	剥製を観察しながら粘土で動物を作りました。	15名	奥村（碓井）
6.18(土)	化石の模型づくり	アンモナイトなどの型を使って化石の模型を簡単に作りました。	49名	坂本（町田）

(2) 体験教室

時 間：13：30～15：30 対 象：小学生は同伴者必要
 参加者数：118 申 込：当日
 会 場：当館科学教室他 費 用：無料

期日	タ イ ト ル	内 容	参加者数	担当（副担当）
5.28(土)	3Dにチャレンジ	裸眼、実体鏡で立体視を体験しました。	51名	坂本（植田）

7.2(土)	写真でミクロの世界を のぞこう	ルーペや顕微鏡で、いろいろな ものを観察しました。	67名	奥村(町田尚)
--------	--------------------	------------------------------	-----	---------

(3) 自然史講座

対 象：「小さな植物？を調べよう！」は小学校5年生以上、「太古の火山灰を調べる」は
中学生以上

申 込：事前

期 日	タ イ ト ル ・ 内 容	集 合・解 散	参加 者数	費 用 円	担 当
6.25(土)	小さな植物？を調べよう！ 特殊な環境に見られる地衣類、コ ケ類、ソウ類を観察しました。	集合 10:30 長瀬駅 解散 15:00 上長瀬駅	7名	300 (含保険料)	吉田 (植田)
7.23(土)	太古の火山灰をさぐる 火山灰中の鉱物を顕微鏡などで 観察しました。	集合 13:30 博物館 解散 16:00	7名	300 (含保険料)	本間 (小林)

(4) 観察会

対 象：小学生以上

*秋のきのこ探しは小学校5年生以上

申 込：事前

期 日	タ イ ト ル ・ 内 容	集 合・解 散	参加者数	費 用 円	担 当
5.21(土)	長瀬岩畳の春の虫たち 岩畳の春のチョウとト ンボを観察しました。	集合 10:00 博物館 解散 12:30 博物館	11名	300 (含保険料)	碓井(奥村)
6.4(土)	地球の窓「長瀬」の地学 散歩 長瀬の岩畳などの岩石 等を観察しました。	集合 10:00 博物館 解散 15:00 長瀬駅	30名	300 (含保険料)	本間(町田尚)
8.6(土)	トンボ博士になろう！ 羽生市にある水郷公園 の沼で多様なトンボた ちを観察しました。	集合 10:00 さいたま水族館前 解散 15:30 さいたま水族館博物 館前	27名	300 (含保険料)	碓井(奥村)
10.2(日)	秋のきのこ探し初心者 コース 雑木林にみられるキノ コを探しました。	集合 10:30 親鼻駅 解散 15:00 親鼻駅	14名	300 (含保険料)	吉田(植田)
2.4(土)	ロウバイと冬鳥を楽し もう 宝登山のロウバイ園でバ ードウォッチング(初心 者コース)を楽しみまし た。	集合 10:00 宝登山山頂ロープウ エイ駅 解散 12:00 宝登山山頂ロープウ エイ駅	16名	300 (含保険料)	碓井(中村)

2.26(日)	さきたま古墳群の石材をさぐる さきたま史跡の博物館と古墳群を見学しました。	集合 10:00 さきたま史跡の博物館 解散 15:00 さきたま史跡の博物館	23名	300 (含保険料)	井上 (坂本、若松)
3.4(日)	早春の植物「ザゼンソウ」を訪ねる 路傍の植物を観察しながら、ザゼンソウの自生地を訪ねました。	集合 10:30 武州日野駅 解散 15:00 武州日野駅	44名	500 (含保険料、 入園料300円)	植田(吉田)
3.17(日)	太古の化石林をさぐる 深谷市平方付近の、地層と植物化石等を見学しました。	集合: 9:30 荒川河床 解散: 13:00	37名	無料	坂本・本間 (深谷市と共催)

(5) 記念事業、研究発表会等

ア 地質の日協賛事業

本事業は、「地質の日」事業推進委員会及び文部科学省の要請に基づき、共催事業として実施します。

「地質の日」記念行事 「大地との語らいー身近な岩石・鉱物」

日 時：平成23年5月7日(土)10:00～15:00

内 容：秩父地方の岩石や鉱物を調べました。

場 所：博物館

費 用：無料

参加者数：117名【担当：町田(尚)・本間】

イ 国際博物館の日記念事業

「博物館の裏方探検！」

日 時：平成23年5月18日(水)10:00, 11:00, 14:00, 15:00

内 容：標本製作室などバックヤードを見学しました。

費 用：観覧料

参加者数：9名【担当：奥村・町田(尚)】

ウ 県民の日記念事業

日 時：平成23年11月14日(月)

場 所：県立各館・県庁

内 容：県立4館で実施中の自然の博物館紹介展示・県庁渡り廊下での展示でギャラリートークを実施しました。また、川の博物館の記念行事に合わせての体験イベントを実施しました。

費 用：無料

参加者数：1,807名【担当：学芸職員】

エ 第15回研究発表会

日 時：平成23年11月27日(日)

場 所：越谷市児童館ヒマワリ

内 容：自然・環境分野での日ごろの研究成果の発表(主に生物関係)

費 用：無料

参加者数：13名【担当：碓井(本間)】

- オ 第16回研究発表会
 日 時：平成24年3月11日（日）
 場 所：県立嵐山史跡の博物館
 内 容：自然・環境分野での日ごろの研究成果の発表（主に地学関係）
 費 用：無料
 参加者数：24名 【担当：本間（碓井）】
- カ 第1回合同研究発表会
 日 時：平成24年2月18日（日）
 タイトル：一道をめぐる物語—
 場 所：埼玉県立歴史と民俗の博物館
 内 容：埼玉県におけるカモシカの分布 —分布の変化と移動経路—
 参加者数：91名

（6） 児童・生徒・学生等の学習支援

- ア 理科学習や総合的な学習の時間等の支援
 「地域の自然を学習の場とした体験学習プログラム」
 学習の手引きや館有機材等を活用して、学校における理科や総合的な学習の時間の活動を支援しました。 実施校数：17校
- イ 理科自由研究相談室
 日 時：平成23年7月30日（土）・8月20日（土） 10：00～16：00
 内 容：自然分野の自由研究についてまとめの相談を受け付けました。
 対 象：小学生には保護者同伴
 参加者：7月30日 25名 8月20日 9名
 会 場：当館講堂
 費 用：入館料
 申 込：当日 【担当：7月30日碓井（植田） 8月20日碓井（奥村）】
- ウ 夏休みサイエンス教室（環境担当）
 日 時：平成23年8月23日
 内 容：カワセミ川原の水質と水生生物を調べました。
 対 象：川の博物館来館者
 参加者：11名
 会 場：埼玉県立川の博物館

（7） 指導者対象講座

- ア 授業に役立つ自然史体験講座
 日 時：平成23年8月4日（木） 9：30～15：30
 内 容：当館が学校の「総合的な学習の時間」等を支援する事業の内容（自然・環境分野）について事例をあげて説明しました。教員の方が事業計画をたてる際の参考になりました。
 対 象：教員・公民館等職員
 参加者：54名
 会 場：当館講堂・科学教室
 費 用：無料 【担当：向井（楡井）】

(8) 自然の博物館ふれあいトーク

自然に関するトークを、職員の持ち味を生かした内容で実施します。延べ16回
日時：他事業予定のない日曜日の14:00~14:30(30分程度)に入館者の動向を
見て実施しました。

開催日：平成23年4月3日(21名、担当：碓井)、10日(23名、担当：吉田)、
17日(15名、担当：坂本)
5月8日(9名、担当：植田)、15日(52名、担当：本間)
22日(26名、担当：楡井)、29日(22名、担当：中村)
6月5日(33名、担当：向井)、12日(42名、担当：奥村)
19日(36名、担当：中村)、26日(25名、担当：碓井)
7月3日(28名、担当：楡井)、10日(22名、担当：坂本)
17日(36名、担当：本間)
8月6日(27名、担当：碓井)、24日(28名、担当：町田尚)
31日(41名、担当：向井)

(9) ギャラリートーク等

共催展示・出張展示の内容について以下のギャラリートーク等を実施しました。

ア 展示解説

日時：平成23年11月19日(土)

内容：共催展「かえで&モミジ ―埼玉の山はカエデの宝庫―」展示解説

対象：一般

場所：埼玉県自然学習センター

参加者：13名

イ レンジャーズトーク

日時：平成24年1月12日(木)

内容：フクロウのエサとしてのネズミの生態

対象：一般

場所：狭山丘陵いきものふれあいセンター

参加者：12名

ウ 展示解説

日時：平成24年1月22日(日)

内容：共催展「空からみた埼玉の自然地形 ―多様な生きものを育む多様な自然環境―」

対象：一般

場所：埼玉県自然学習センター

参加者：11名

エ 動物クイズ(歴史と民俗の博物館との連携事業)

日時：平成24年1月28日(土)

内容：触れる剥製を使った展示解説

対象：一般

参加者：21名

場所：県立歴史と民俗の博物館

オ ギャラリートーク「深谷の化石」

日時：平成24年3月3日(土)

内容：展示している化石の解説

対象：一般

- 場 所：深谷市川本出土文化財センター
 参加者：165名
- カ ギャラリートーク「深谷の地層」
 日 時：平成24年3月4日（日）
 内 容：共催展の展示解説
 対 象：一般
 場 所：深谷市川本出土文化財センター
 参加者：221名

(10) 各種研修会・教育研究団体の受入

- ア 小・中学校初任者研修[みどりと川と埼玉の歴史を学ぶ体験研修]（総合教育センター主催）
 期 日：平成23年5月19日（木）、6月17日（金）、7月5日（火）、7月7日（木）
 7月8日（金）、7月12日（火） 各回 12:45-16:30
 対 象：市町村立小中学校初任者教員 参加158名
 場 所：自然の博物館等
- イ 中学校理科5年経験者教員研修（総合教育センター主催）
 期 日：平成23年7月29日（金） 9:00～16:00
 対 象：市町村立中学校5年経験者教員 参加24名
 場 所：総合教育センター
- ウ 高校・特別支援学校教員等社会貢献体験研修（総合教育センター主催）
 期 日：平成23年8月17日（水）、18日（木） 9:00～16:30
 参加者：6名
 場 所：当館
- エ 中学校理科教員初任者研修（総合教育センター主催）
 期 日：平成23年6月24日（金） 9:00～16:00
 対 象：市町村立中学校理科教員初任者 参加者数51名
 場 所：当館
- オ 20年次経験者研修
 期 日：平成23年8月10日（水）～8月12日（金） 8:30～17:00
 対 象：20年経験者教員等
 参加者：2名
 場 所：当館

(11) 博物館学芸員実習・職場体験等の受入

- ア 博物館学芸員実習
 日 時：平成23年8月3日（水）～8月9日（火） 9:00～16:00
 対 象：「埼玉県博物館等の博物館実習生受入要項の実習選考基準」に該当する者
 参加者数：7名（大東文化大学・八州学園大学・東京農業大学・日本大学・筑波大学・立正大学）
 費 用：教材費2,000円
- イ インターンシップ
 日 時：平成23年8月20日（土）～30日（火） 9:00～17:00
 対 象：学生
 参 加：1名（筑波大学）